



一般に農村歌舞伎といわれるのは、こうした地芝居を重ねる内に村々の出し物に特色が生まれ、一座を形づくったもので、市指定の小原歌舞伎をはじめ、盆歌舞伎、石野歌舞伎、藤原歌舞伎がその伝統を今に伝えている。

#### 市町村合併が転機

廃絶したことが確認できる舞台を含めると、盛期には135棟にもほった農村舞台も、高度成長時代に入るとその役割を終え、廃絶の危機を迎えるようになった。

この間、市民総合文化祭「よた民俗芸能祭」や豊田文化デザイン会議「共感する悪所」など、農村の再生に向けた試みは続けられたが、市民の文化意識としての共通認識をもつには至らなかつた。

転機になったのは2005年の市町村合併。10棟だった農村舞台は84棟まで一気に膨らんだ。それまで点として孤立していた旧市内の農村舞台と合併町村の農村舞台が面としてつながり、地域の文化的特性の一つとして浮かびあがってきたからである。

#### 農村舞台アートプロジェクトはじまる



農村舞台アートプロジェクト2011「ライブ」

農村舞台で国内初のオペラ上演となった「蝶々夫人ファンタジー」。主役の蝶々夫人を歌った二宮咲子さんは、BSプレミアムで放送された2011年イタリアのプッチーニ財団の蝶々夫人で主役を射取めた話題のソプラノ。郷守の杜に蝶々夫人のアリアが木霊し農村舞台はオペラハウスとして蘇った。

(深見町磯崎神社農村舞台) 2011年

◆農村舞台案内・各舞台のスケッチ・絵地図上にNo.・所在神社名・作られた年代・農村舞台の間隔X與行を間(間約18cm)表示・戸住所所・その他

## よたの原風景を今に伝える農村舞台群

岐阜県の飛騨・東濃地域、長野県の南信州地域、愛知県の奥三河、豊田市の東部から北部にかけて、約3分の1の舞台が集中し、神社拝殿型といわれる農村舞台文化圏を形成していることも浮かびあがってきた。

中馬街道や秋葉街道、岩村道など三河と伊那谷や東濃・飛騨を結ぶ物流の道が文化を運んだ歴史で、江戸時代の中頃・稻武地区の小田木町に伝えられ、明治のはじめ県指定の人形淨瑠璃のカシラと衣装を残して途絶えた小田木人形座など、道の文化の胚は枚挙にいとまがない。

#### 農村舞台は農山村の松舞台

豊年を祈願する春祭りや、五穀豊穣を神々に感謝する秋祭りなど、神事の余興行事として催される農村演芸の場として、舞台が建てられたのは江戸時代も後半になった頃。

ちなみに市内で棟札が残る最古の舞台は、寛政10年(1798年)の西広瀬町八剣神社の舞台だが、舞台正面の虹梁の模様や伝承から江戸中期に遡る舞台も浮かびあがるなど、本格的な学術調査は必須。

余談に逸れたが、唄楽の乏しかった農山村にあって、一年の最大行事である氏子の祭礼に奉納される地芝居や人形芝居は、華やかで文字通りの松舞台になったことは想像に難くない。



文化5年(1808)に建設された豊田市有形民俗文化財岩倉神社農村舞台(中町)。写真は舞台の改修を機に復活した石野歌舞伎で熱演する子ども歌舞伎。

## 石野 猿松



① 岩倉神社  
文化5年(1808)・8.0×5.0間  
中町・岩倉・元建替



② 神明神社  
文化5年(1808)・3.0×2.0間  
中町・岩倉・元建替



③ 野神社  
昭和60年(1985)・2.5×2.0間  
中町・岩倉・元建替



④ 神明神社  
昭和50年(1975)・5.0×2.0間  
中町・岩倉・元建替



⑤ 八剣神社  
昭和30年(1955)・5.0×3.0間  
中町・岩倉・元建替



⑥ 六所神社  
昭和50年(1975)・8.0×4.0間  
中町・岩倉・元建替



⑦ 志賀神社  
昭和50年(1975)・6.0×4.0間  
中町・岩倉・元建替



⑧ 神明宮  
昭和30年(1955)・6.5×4.0間  
中町・岩倉・元建替



⑨ 神明社  
昭和50年(1975)・6.0×3.5間  
中町・岩倉・元建替



⑩ 神明宮  
昭和50年(1975)・7.5×4.0間  
中町・岩倉・元建替



⑪ 八剣神社  
昭和50年(1975)・5.0×3.5間  
中町・岩倉・元建替



⑫ 八柱神社  
昭和50年(1975)・4.0×2.0間  
中町・岩倉・元建替



⑬ 八柱神社  
昭和50年(1975)・7.5×3.5間  
中町・岩倉・元建替



⑭ 石野神社  
昭和24年(1949)・7.0×3.5間  
北一島町・山岸・元建替



⑮ 石野崎神社  
昭和24年(1949)・5.0×4.0間  
北一島町・山岸・元建替



⑯ 八柱神社  
昭和24年(1949)・6.0×3.5間  
三箇町・山岸・元建替



⑰ 八柱神社  
昭和24年(1949)・7.0×4.0間  
三箇町・山岸・元建替



⑱ 八柱神社  
昭和24年(1949)・5.0×3.5間  
大字・山岸・元建替



⑲ 八柱神社  
昭和24年(1949)・7.0×4.5間  
中町・山岸・元建替



⑳ 八柱神社  
昭和24年(1949)・5.0×3.0間  
下町・山岸・元建替



㉑ 八柱神社  
昭和24年(1949)・2.5×2.0間  
大字・山岸・元建替



㉒ 神明神社  
昭和24年(1949)・6.5×4.0間  
小高町・山岸・元建替



㉓ 八柱神社  
昭和24年(1949)・7.0×5.0間  
小高町・山岸・元建替



㉔ 八柱神社  
昭和24年(1949)・5.0×3.0間  
新郷町・山岸・元建替



㉕ 神明神社  
昭和24年(1949)・4.0×3.0間  
山岸町・山岸・元建替



㉖ 神明神社  
昭和24年(1949)・4.5×2.5間  
山岸町・山岸・元建替



㉗ 神明神社  
昭和24年(1949)・4.0×3.0間  
山岸町・山岸・元建替



㉘ 神明神社  
昭和24年(1949)・5.0×3.0間  
山岸町・山岸・元建替



㉙ 神明神社  
昭和24年(1949)・5.0×3.0間  
山岸町・山岸・元建替



㉚ 神明神社  
昭和24年(1949)・5.0×3.0間  
山岸町・山岸・元建替



㉛ 神明神社  
昭和24年(1949)・5.0×3.0間  
山岸町・山岸・元建替



㉜ 神明神社  
昭和24年(1949)・5.0×3.0間  
山岸町・山岸・元建替



㉝ 神明神社  
昭和24年(1949)・5.0×3.0間  
山岸町・山岸・元建替



㉞ 神明神社  
昭和24年(1949)・5.0×3.0間  
山岸町・山岸・元建替



㉟ 神明神社  
昭和24年(1949)・5.0×3.0間  
山岸町・山岸・元建替



㉛ 神明神社  
昭和24年(1949)・5.0×3.0間  
山岸町・山岸・元建替



㉜ 神明神社  
昭和24年(1949)・5.0×3.0間  
山岸町・山岸・元建替



㉝ 神明神社  
昭和24年(1949)・5.0×3.0間  
山岸町・山岸・元建替



㉞ 神明神社  
昭和24年(1949)・5.0×3.0間  
山岸町・山岸・元建替



㉟ 神明神社  
昭和24年(1949)・5.0×3.0間  
山岸町・山岸・元建替



㉛ 神明神社  
昭和24年(1949)・5.0×3.0間  
山岸町・山岸・元建替



㉜ 神明神社  
昭和24年(1949)・5.0×3.0間  
山岸町・山岸・元建替



㉝ 神明神社  
昭和24年(1949)・5.0×3.0間  
山岸町・山岸・元建替



㉞ 神明神社  
昭和24年

# 豊田市の農村舞台絵地図

